

令和 2 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査

資 料

決 算 審 査

令和 3 年 7 月

商工労働部雇用人材局
鳥取県立境港ハローワーク

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	4 頁
7	事業別実施状況調べ	5 頁
8	予備費の充用調べ	6 頁
9	繰越関係調べ	6 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	6 頁
11	現金の取扱状況	6 頁
12	財産に関する調べ	6 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	6 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	6 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	6 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	6 頁
17	備品の処分状況調べ	6 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	6 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	7 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
20	利用状況及び事業実績	7 頁
21	就職決定件数の内訳	7 頁
○	意見、要望等	7 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和3年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	2.4.1 現在	当該年度	2.4.1 現在	当該年度	2.4.1 現在	当該年度	2.4.1 現在	
定員	1	1					1	1	
現員	1	1					1	1	
過不足(△)									
臨時的職員									
会計年度 任用職員	4	4					4	4	主任就業支援員1 就業支援員3

4 役付職員の調べ

（令和2年7月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
所長	(兼) 難波康夫	1年	3月	とっとり働き方改革支援センター 参事

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県立境港ハローワーク管理運営事業	1,957	205	0	0	1,752
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく (3) 場所や時間にとられない働き方が実現 5 支え合う お互いを認め、尊重して、支え合う (2) 家庭・地域・職場で心豊かに暮らせる男女共同参画社会				
令和新時代創生戦略	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (2) 働く場 ②戦略的な産業人材の育成・確保 ③自らの能力を発揮できる働き方の実現				
政策項目	-				
(概要) ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 地方版ハローワークの創設(職業紹介に係る権限移譲)を受け、「鳥取県立ハローワーク」を開設し、県の「産業施策」「雇用施策」「移住施策」と一体となった求職者と企業の求職者と企業の一貫支援による効果的なマッチングを行い、地方創生実現を図る。 (イ) 事業の実施状況 ◆ 設置場所：境港市上道町3000番地 境港市役所別館1階 ◆ 開所時間：月～土曜日8:30～17:15(祝日・年末年始を除く) ◆ 設置窓口：求職者相談・企業支援 ※「ふるさとハローワーク境港」併設					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
項目		具体的取組			
求人企業と求職者に向けた提案型のマッチングを推進		県立HW独自の求人カテゴリーのひとつとして平成30年度に創設した子育て中の方に向けた「子育て応援求人」に係る就職相談について、お子さん連れでも比較的来所しやすい土曜開所日のうち第2・第4土曜日を「子育て応援お仕事相談Day」として開催した。 上記開催の周知を図るため境港市内保育園、食料品店等にチラシ配布を定期的に行った。			
「打って出るハローワーク」を体現する出張相談を実施		商業施設(プラント5境港店)で「出張!県立ハローワーク」を毎月2回(第2・第4火曜日)定期的に開催した(令和元年度は毎月1回開催)。また、平日の仕事終わりの方が相談しやすいように、11月より相談終了時間を延長して実施した。(相談時間 10:00～16:00 → 10:00～19:00)			
ウ 成果及び効果					
商業施設において出張相談時間を延長した取り組みや就業支援員の担当制による相談者に寄り添った支援により、令和2年度県立境港ハローワークにおける相談件数は、令和元年度から微増し4,625件、一方採用決定件数は令和元年度実績の約9割となる178件となったがコロナ禍においても一定の成果を納めた。 また、相談来所者への利用者満足度調査を実施したところ、大多数の方が県立境港ハローワークの対応について満足をいただき、本人に合った就職先への紹介への期待が高いことが伺える。					

【利用状況（令和2年4月～令和3年3月）】

項目	県立ハローワーク全体	うち県立境港ハローワーク
相談件数	53,612件	4,693件
採用決定件数	2,624件	178件
うち正社員	838件	56件
新規求職者数	3,429人	284人
新規求人数	4,030人	448人

【アンケートによる県立境港ハローワーク利用者満足度調査（抜粋）】

（実施期間 R2.6.22～R2.7.4、回答数 22）

アンケート項目（抜粋）	回答状況
県立境港ハローワークのサービスに満足ですか	①満足（16件73%） ②どちらかといえば満足（5件23%） ③どちらかといえば不満（0件） ④不満（0件） 未回答1件
県立境港ハローワークに求職登録された理由は何ですか（複数回答）	①自分や家族の困り事等、親切丁寧な相談（9件19%） ②履歴書の書き方や面接方法等、きめ細かな指導（6件12%） ③女性、若者、ミドル・シニアの相談体制が充実（5件10%） ④I J Uターン就職の相談体制の充実（2件4%） ⑤土曜日でも相談できる場所（4件8%） ⑥自分に合った就職先の紹介（15件31%） ⑦求人内容の丁寧な説明、求人条件の調整（5件10%） ⑧その他（3件6%）

エ 課題

令和2年7月で県立境港ハローワーク開設から3周年を迎えたが、県内への認知度はまだまだ十分とはいえ、国が行うセーフティネットとしての職業紹介との差別化を進め、産業振興など地方の施策と連動した地方版ハローワークとしての独自の取り組みの強化・確立を今後も図る必要がある。

- ・ 少子高齢化に伴い地域の労働人口が減少する中で、高齢者や子育て世代など潜在的求職者も含めた求職者の掘り起こし
- ・ ネット検索の普及など求人情報に対するアクセスの手段が多様化しており、従来型の窓口相談のみならず、出張相談の多様化や情報誌やSNSなどの情報発信手段の拡大
- ・ 将来の企業の中核人材として求人ニーズの高い新卒求人を含む若年層へのアプローチを拡大するための高校と連携したキャリア教育の拡大と学生登録の推進

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	労働費国庫補助金	484,000	△ 32,000	0	452,000	0	0	0	0	
	合 計	484,000	△ 32,000	0	452,000	0	0	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年度 繰 越 額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A		本庁	出納機関			
歳出	労政総務費	3,938,000	△ 740,000	0	0	3,198,000	1,957,393		1,957,393	0	1,240,607	
	合 計	3,938,000	△ 740,000	0	0	3,198,000	1,957,393		1,957,393	0	1,240,607	

特別会計（歳入） 該当なし

特別会計（歳出） 該当なし

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年 度繰 越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果・ 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(労政総務費) (主) 鳥取県立境港 ハローワーク 管理運営事業	3,938,000	△740,000	0	0	3,198,000	1,957,393	0	1,240,607	61.2	【事業計画と実績・成果】 主な事業に関する調べ のとおり 【不用額の理由】 ・出張ハローワーク等の開 催経費として見込んでい たイベント広報費、会場借 上料、職員旅費その他経費 について、新型コロナの拡 散防止の観点から開催し なかったことによる不用 額。 ・県外出張経費の不執行や 各種会議、打合せをWeb会 議で代用したことによる 県外・県内出張旅費の不用 額等。
目 計	3,938,000	△740,000	0	0	3,198,000	1,957,393	0	1,240,607	61.2	
合 計	3,938,000	△740,000	0	0	3,198,000	1,957,393	0	1,240,607	61.2	

8 予備費の充用調べ

該当なし。

9 繰越関係調べ

該当なし。

10 収入証紙取扱調べ

該当なし。

11 現金の取扱状況

該当なし。

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし。

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況 該当なし。

(3) 基金 該当なし。

(4) 債権 該当なし。

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

該当なし。

14 借受不動産明細調べ

該当なし。

15 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし。

16 寄附物件の受納状況調べ

該当なし。

17 備品の処分状況調べ

該当なし。

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況 該当なし。

(2) 物品の照合

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ

該当なし。

20 利用状況及び事業実績

(単位：人、件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
新規求職者数	24	11	19	33	17	18	16	23	27	37	31	28	284	328
紹介状発行件数	21	14	12	16	13	23	22	16	13	21	16	41	228	198
新規求人数	34	85	31	21	71	44	17	27	31	21	37	29	448	404
就職決定件数	15	16	8	12	15	14	17	8	12	15	13	33	178	200
うち正社員	4	5	3	3	5	5	4	4	4	3	5	11	56	74
相談件数	237	205	286	418	277	576	343	527	442	485	369	528	4,693	4,625
来所者数	92	76	94	100	112	136	131	96	81	112	114	160	1,304	1,424
企業訪問件数	5	11	22	17	3	24	14	34	9	14	10	8	171	174

21 就職決定件数の内訳

(単位：人、件)

区 分	女性活躍	ミドル・シニア	若者・学生	IJUターン	合計
就職決定件数	107	35	35	1	178
うち正社員	31	11	13	1	56

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし